

身近な水環境を調べよう！

- 「第23回 身近な水環境の全国一斉調査」参加のお願い -

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長 風間 ふたば
長野支部責任実行委員 沼田 清

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと国土交通省・(財)河川環境管理財団が連携し、実施しています。

本調査は、「パックテスト」という簡単な調査キット(無償で配布)を用いて、全国で一斉に調査を行い、その調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が他地域と比較して理解できるようにしています。

また、調査を10年、20年と継続することで、この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。子供から大人まで大勢の皆さまの参加申し込みをお待ちしています。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

調査日時 2026年6月7日(日)※世界環境デー(環境の日)に近い日曜日

測定項目 気温、水温、C O D、その他(任意)

測定方法 取扱説明書に基づき、調査キットにて測定

(調査キットは参加申込者に毎年5月頃事前に配布予定)

参加ご希望の方は 上記ホームページから参加申込用紙をダウンロードの上

2026年3月10日までにE-mailまたはFAXで申し込みができます。

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

なお、ご不明の点は下記の信州水環境マップ・ネットワーク事務局宛てにご一報ください。また、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

信州水環境マップ・ネットワーク事務局 沼田 清

〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田 2538-11

電話 0267-32-8608 携帯 090-9801-6671 E-mail: ecolabo@rondo.ocn.ne.jp

Web : <http://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/> この中の長野県水環境マップ

web マップ版を開いて過去数年分の変化を比較しつつご覧ください。

| 2025年 第22回身近な水環境の全国一斉調査 | |
|-------------------------|------------------|
| 長野県版マップ 調査地点 173ポイント | |
| 番号 | 調査グループ名 |
| 1 | エコラボクラブ |
| 2 | グリーンヒル友の会 |
| 3 | バレーリバー |
| 4 | リサイクルシステム研究会 |
| 5 | 軽井沢水楽会 |
| 6 | 佐久平浅間小学校クラブ活動 |
| 7 | 三峰川みらい会議 |
| 8 | 小諸市立美南が丘小学校クラブ活動 |
| 9 | 信州大学環境学生委員会 |
| 10 | 諏訪湖クラブ |
| 11 | 千曲川水生昆虫研究会 |
| 12 | 長野市水環境研究サークル |
| 13 | 湯川 水の会 |
| 14 | 飯水自然調査研究委員会 |
| 15 | たがわ水辺を守る会 |
| 16 | 下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会 |
| 17 | 豊科南小学校 |
| 18 | EnCompass 環境羅針盤 |
| 19 | クリーンピア千曲 |
| 20 | 天竜川総合学習館かわらんべ |
| 21 | 風越学園「お魚プロジェクト」 |
| 22 | 他に個人参加1名 |

【2025年度全国一斉水質調査講評】

2025年度全国一斉水質調査に参加された皆様、今年も全国一斉水質調査にご参加いただきありがとうございました。今年も全国的に、局地的に強い降雨があったり、高温が続いたりと温暖化の影響を感じましたが、長野県下でも天候が地域によってまちまちで、調査の当日は河川流量が多く、調査に難渋された方々が多かったのではないかでしょうか。それでも事故もなく、調査を無事終了することができありがたく思っています。今回の参加団体数は21団体、1個人で、昨年より1団体減少、調査地点は173地点と、昨年よりも減少しました。参加者の減少の原因は法政大学の学生さん達のご援助が得られなかつたことで、残念ではありますが、幸いにして県内在住の方々には変化はありませんでした。しかし、次回以降の参加者増加には各地での働きかけが必要です。よろしくおねがいします。今回も昨年までと同様に、その結果を地図にまとめました。コロナ騒動が一段落し、やや落ち着きを取り戻したかに見える社会情勢の中、また局地的な集中豪雨による河川流量の局地的な変動という調査環境の中での観測という状況も加味してご覧ください。

今年も長野県下で測定された173地点中の54%が水質良好でした。これは昨年の測定結果(59%)と比べると若干低い数字ですが、天候の差、調査した人にも差があることを考えれば単純に比較はできません。局所的な豪雨による中小河川の異常事態が河川水質にまで影響する事態がないとは言えません。

また、社会全体が高齢化しつつある時代ではありますが、調査の継続性を考えると、長野県内でも若い世代の方々のより多くの参加が期待されます。長野県内の河川水質が良好に保たれている要因の一つに各地に設置された下水道システムの存在があります。これらの施設も建設以来年数がたてば老朽化し、維持費がかかるようになります。便利さにまけて維持、補修についての配慮も忘れないようお願いします。

沖野外輝夫(諏訪湖クラブ)